

！算数科の原理原則！

原則 3 = 四捨五入の仕方

- 1) 0・1・2・3・4は切り捨て、5・6・7・8・9は切り上げる。
- 2) 四捨五入をする時は、1つ前の位で。
- 3) 範囲を求める問題は、「5」がキーワード

■例題でこのことを考えてみましょう。

【例題 1】 3456 という数字があります。

① 10 の位で四捨五入を下さい。

3 4 ⑤ 6

⇒10 の位を○で囲みます。そして、その1つ前の位、つまり「1の位」で処理をします。「6」は、切り上げになりますね。だから、56は60となり、答えは3460となりますね。

② 100 の位で四捨五入を下さい。

3 ④ 5 6

⇒同様に、10の位の「5」は切り上げですから、正解は3500となります。

【例題 2】 1500 という数字があります。

① 1未満を四捨五入して、1500になる数の範囲を答えなさい。

⇒1未満ですから、その1つ前の小数第1位の数字で考えます。「() 以上 () 未満」という言葉を使って、答えを表します。可能性がある数字は、以下の通りです。<1499.5 1499.6 1499.7 1499.8 1499.9 1500.0 1500.1 1500.2 1500.3 1500.4>

つまり、こうなります。**1499.5 以上 1500.5 未満**

② 10未満を四捨五入して、1500になる数の範囲を求めなさい。

⇒同様に、10の位の1つ前、つまり1の位で考えて、**1495 以上 1505 未満**となります。このように、**範囲の問題では、5がキーワード**です。

「以」がつく場合はその数を含める。

5以下⇒ $5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$

「未満」はその数を含めない！

5未満⇒ $4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$

● 「より上」「より下」という場合は、その数を含めません。

5より下⇒ $4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$ となります。

■では、問題を解いてみましょう。

